

川のシンポジウム 2015

—10年前に求めた球磨川の治水案は？



私たちは2005年に『川辺川ダムはいらん—住民が考えた球磨川流域の総合治水対策』を出版し、川辺川ダムがなくても球磨川・川辺川の治水が可能であることを立証しました。その後、ダム反対の圧倒的な県民世論を背景にした2008年の熊本県知事による川辺川ダム白紙撤回宣言により、行政によるダム無しの治水対策の検討「ダムによらない治水を検討する場」が始まりました。しかし、今年2月何ら具体的な成果を出せぬまま、「検討する場」は終了しました。

このシンポジウムでは、私たちは「検討する場」を住民の立場から検証し、住民が求めている治水案をあらためて明らかにして、行政に実施を求めたいと思います。また流域の状況や最新の治水の考え方なども知ることが出来ます。多くみなさんのご参加をお待ちしています。

←2005年に出版した球磨川流域の総合治水対策の提案

日時：2015年6月20日(土)19時開始

**会場：熊本市・くまもと県民交流館パレア 会議室7
(市電水道町電停下車、鶴屋東館10階)**

内容：今本博健 京都大学名誉教授（河川工学の第一人者）の講演
住民が10年前に発表した治水具体案
球磨川・川辺川流域住民による現状報告

資料代：500円

主催：子守唄の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会

問合せ先：080-3999-9928 土森